

地域計画

策定年月日	令和8年2月17日
更新年月日	令和 年 月 日 ()
目標年度	令和17年度
市町村名 (市町村コード)	木更津市 12206
地域名 (地域内農業集落名)	下望陀地区 (農業集落:下望陀地区)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	46.11 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	40.97 ha
② 田の面積	39.2 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	1.77 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	— ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	— ha
(参考)区域内における〇才以上の農業者の農地面積の合計	— ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	— ha
(備考)	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

<p>地区内の農地所有者に対しアンケートを実施し、回答結果などから、地域農業の現状・課題として以下のようなものが挙げられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区内の農地所有者は70代以上の割合が約5割、60代の割合が約3割と全体の8割が60代以上と高齢化が進んでいる。 ・地区内の農家では、水稻、露地野菜が栽培されている。 ・農家のうち、今後の経営方針として6割は現状維持の方針であり、離農を含む規模縮小の意向を示している方の割合は3割となっている。 ・所有している農地について、貸付を行いたいと回答した割合は半数となっており、持続的に農地の利用を図りながら地域の活性化を進めるためには、新規就農者を確保・育成しつつ、地域住民を交え地域全体で農地を利用していく仕組みの構築が今後の課題である。 ・老朽化のため河川からの農業用取水口の改修工事が必要。 ・用水ポンプの設備の不具合が発生している。 ・農業用水のパイプライン化が必要。 ・基盤整備が十分ではない場所があり水利に課題があるため、作業効率や経営効率が悪い農地がある

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

当地区では、多面的機能直接支払交付金を活用しているが、担い手に更なる農地集積・集約を進め地域の農業生産体制を整備強化し、担い手との協力・役割分担により保全管理を図る。また、地域内の一般住民に対して、保全管理活動が地域を守る活動であることを組織代表者会議、会報及び区内広報等で周知することで、これまで活動に参加されていない人々の参加を促し、保全管理活動の継続や強化を図る。また規模拡大整備された農場で耕作者が効率よく作業ができることを目指す。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針

担い手に集積・集約化するとともに担い手の分散錯圖を解消し、今後地域での話し合いを重ね、基盤整備を行うにあたっての判断を行う。

(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標

現状の集積率	3.7	%	将来の目標とする集積率	39.83	%
--------	-----	---	-------------	-------	---

(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標

担い手への集積・集約化を目指す。

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1) 農用地の集積・集団化の取組

区域内の耕作者が減少しているため、農振農用地や現在耕作されている農地を中心に集約・集積を図り、農地の大規模化・効率化を促進する。

(2) 農地中間管理機構の活用方法

地域の農地の貸し借りは農地中間管理機構の活用を促進し、担い手の経営意向に沿った農地の集積・集約化を図っていく。

(3) 基盤整備事業への取組

高齢化の進行や就農者減少等があるため農地の集約化を行いつつ、今後地域での話し合いを重ね、基盤整備を行うにあたっての判断を行う。

(4) 多様な経営体の確保・育成の取組

地域における新規就農者に対し、地域として技術支援などのサポートをおこなっていく。空き農地情報などを関係機関と連携しながら収集し、担い手の確保をおこなっていく。

(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組

地域での高齢化等により農作業が追い付かないという問題に対応すべく、積極的に農作業委託などのサービスを利用し、農業を維持していく。

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)	
-------------	--	---------------	--

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

(留意事項)

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報を保有するに当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

	属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 17 年度)				備考
			経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図上 の表示	
1	認農	1	水稻等	1.712 ha	ha	水稻等	18.372 ha	ha	A	
2	利用者	2	水稻等	1.345 ha	ha	水稻等	0.9674 ha	ha	B	
3	利用者	3	水稻等	1.663 ha	ha	水稻等	1.6117 ha	ha	C	
4	利用者	4	水稻等	1.714 ha	ha	水稻等	3.0713 ha	ha	D	
5	利用者	5	水稻	1.192 ha	ha	水稻	0.5927 ha	ha	E	
6	利用者	6	水稻等	0.54 ha	ha	水稻等	0.3923 ha	ha	F	
7	利用者	7	水稻	0 ha	ha	水稻	1.5002 ha	ha	G	
8	利用者	8	水稻等	1.174 ha	ha	水稻等	0.7454 ha	ha	H	
9	利用者	9	水稻等	1.344 ha	ha	水稻等	0.9403 ha	ha	I	
10	利用者	10	水稻等	1.503 ha	ha	水稻等	2.4432 ha	ha	J	
11	利用者	11	水稻等	1.696 ha	ha	水稻等	1.7452 ha	ha	K	
12	利用者	12	水稻等	1.762 ha	ha	水稻等	1.9493 ha	ha	L	
13	利用者	13	水稻等	0 ha	ha	水稻等	6.6555 ha	ha	M	
14	利用者	14	水稻	0.475 ha	ha	水稻	1.9967 ha	ha	N	
15	利用者	15	水稻等	1.688 ha	ha	水稻等	2.9098 ha	ha	O	
16	利用者	16	水稻	0.278 ha	ha	水稻	0.2263 ha	ha	P	

下望陀

有吉

上望陀

凡例

- A
- B
- C
- D
- E
- F
- G
- H
- I
- J
- K
- L
- M
- N
- O
- P

※区域内白地：地域計画に含めない農地
(意向確認済み)

大寺

椿

袖ヶ浦市

